



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー エ ヌ ア イ グ ル ー プ
代 表 者 名 取締役代表執行役社長兼 CEO イン・ルオ
(コード番号: 2160 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役代表執行役副社長 松 井 亮 介
(TEL. 03-6214-3600)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）は、2026 年 3 月 31 日付で公表しました 2026 年 12 月期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）連結業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期 連結業績予想（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり当期利益
前回発表予想（A）	27,158	—	—	—	—	—
今回修正予想（B）	47,327	—	—	—	—	—
増 減 額（B－A）	20,169	—	—	—	—	—
増 減 率（％）	74.3%	—	—	—	—	—
（参考）前期連結実績 （2025 年 12 月期）	26,840	△3,471	△4,634	△7,150	△4,244	△80 円 90 銭

2. 業績予想修正の理由

当社は、2026 年 7 月 1 日付であゆみ製薬ホールディングス株式会社（以下「あゆみ製薬」）の全株式の取得を完了し、同社及びその子会社を当社の連結子会社といたしました。これに伴い、当連結会計年度の下半期（第 3 四半期）からあゆみ製薬の売上収益を織り込み、2026 年 12 月期の連結売上収益予想を 27,158 百万円から 47,327 百万円へ上方修正いたします。

なお、当社が次期主力製品候補として期待しております B 型肝炎由来の肝線維症治療薬候補（以下「F351」）の売上収益につきましては、新薬承認の可否及びその正確な時期は当局の判断に完全に依拠することから、保守的な観点に基づき今回の業績予想には織り込んでおりません。

一方、営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、以下のコストの不確実性が存在し、現時点で業績への影響額を合理的に見積もることが困難なため、引き続き非開示とさせていただきます。

① F351 の承認、上市に向けた先行投資の流動性

2026 年 5 月に中国国家薬品监督管理局の医薬品審査評価センターにて新薬承認申請が受理された F351 の最終的な承認のタイミングは当局の判断に依存します。承認時期が確定しないため、緻密な事業計画の策定及び実行が困難であり、今後の承認・上市を見据えた販売準備やマーケティング等の先行投資について、その実行可否、実施時期、および規模が現時点では予測できず、正確なコストの見積もりが困難です。

② 研究開発費の未確定

米国における疼痛治療候補薬の第 2 相試験や、MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）に起因する肝線維症の治療薬候補である F351 を筆頭とした米国での臨床試験については、将来の事業価値最大化に向けた戦略的なリソース配分と経営判断が当期の業績に影響を及ぼします。これらに加え、今後の研究開発の進捗や、規制当局の判断に依存する臨床試験の規模・許認可時期が現段階では未確定であるため、当期に発生する正確な研究開発費を見通すことができません。

上記の流動的な要素がクリアになり、2026 年 12 月期業績予想の合理的な算定が可能となった場合には、速やかに公表いたします。

※上記に記載した業績予想は、本開示日時点において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と差異が生じる可能性があります。

以上